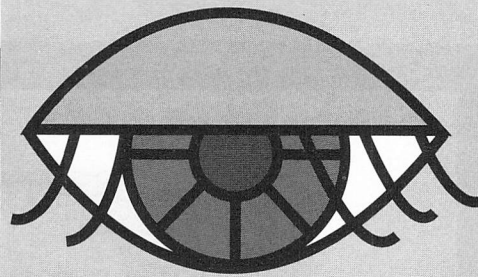


FAME Report



京都ノソキ見トピックス

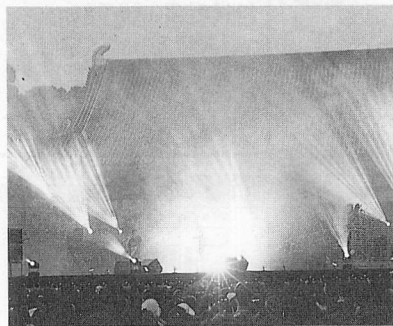
ライター／大音美弥子 写真／鈴木誠一

あめつち
天地、御照覧！
 平安神宮で、なにかが起る。仰天の一夜の物語。

フミヤ・**席巻。**



建都1200年のイヴは、平安神宮と鴨川河川敷で盛大に
 荘厳に滞りなく祝われた。夜空を紅く染め上げたイベント
 に対して、どこからか、ありがとうの声は聞こえたらうか。



立見席の彼女は爆走してきた。40倍の
 確率になった指定席の公募にはずれ、60
 倍の激戦をくぐって、ようやく手にした
 『SHUKUTEN 1200』の60
 00円のチケット。この日は焼けつく陽
 射しの駐車場で、開演の6時間前から座
 った。並々ならぬテンショ
 ンの高さも当然。小泉今日
 子と並ぶ最後のスーパード
 アイドル（？）、「元チエッカ
 ーズの藤井フミヤが、ソロ初
 の京都ライブを行なうのだ。
 平安神宮で歌うフミヤを観
 られるのは、一生に一度の
 ビッグ・イベントに間違いな
 い。お神楽の奉納に続いて、
 真っ赤な衣装に身を包んだ
 フミヤが登場すると、場内
 は騒然。大極殿に向かい二礼、二拜、一
 礼の後、『BIRTH』を歌い始めるフ
 ミヤが両腕を伸ばすと、一瞬空気が固唾
 を飲む。順調なアイドル路線を自らの手
 で覆し、数々のオリジナル曲で自分の言
 葉を語るフミヤの姿は、31歳の今も永遠



の少年のようだ。ふたむかし前、「武道館
 を埋め尽くす」のは、ミュージシャンの
 夢だった。平安建都1200年記念祝典
 の前夜祭として行なわれた6月5日の
 『藤井フミヤ・スーパードライブ』が上々
 の反響を得た今、「平安神宮で、100
 年に一度のライブを行なう」の
 が、これからのミュージシャン
 の悲願となるかもしれない。
 「100年後、200年後、そ
 して10万年後にも、この場所
 でこんなライブがあったら素晴らしい。
 100年後には、ボクた
 ちは誰も生きてはいないけれど、
 未来をつくっていくのは若いボ
 クたちなんだ（笑）」フミヤを
 通して若者たちが100年後
 の日本を祈るとき、100年
 前に建てられた神の宮は、きつと満足の
 吐息をもらしただろう。建都1200年
 のイヴは、平安神宮と鴨川河川敷で盛大
 に荘厳に滞りなく祝われた。夜空を紅く
 染め上げたイベントに対して、どこから
 か、ありがとうの声は聞こえたらうか。